

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 日本山村硝子株式会社播磨工場

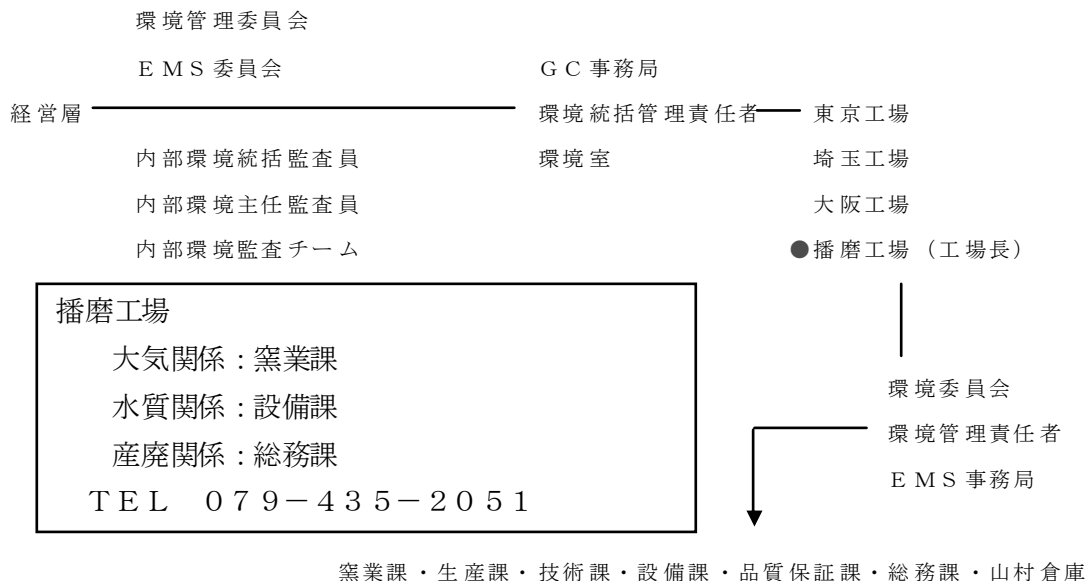
## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

1. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善することにより、環境に対する汚染を予防します。
2. 事業活動に伴い適用される環境に関する環境関連法規及び社会的約束を順守します。
3. 事業活動が環境に与える影響を調査・評価し、環境目的及び目標を定め、継続的な改善を全員で推進します。
4. 具体的活動として、下記の項目に取り組みます。
  - (1) 省エネルギー・省資源の推進
  - (2) 環境負荷（大気・水質汚染、化学物質リスク）の低減の推進
  - (3) 地球温暖化対策・CO<sub>2</sub>排出量低減の推進
  - (4) 持続可能な社会実現への3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動の推進
  - (5) 廃棄物の減量化及び再資源化の推進
  - (6) 環境改善に寄与する製品開発の推進
  - (7) 環境に配慮した製造設備、機器の開発
  - (8) 地球環境活動への参加

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

### 1-2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
CO2 排出量原単位を削減し、地球温暖化防止を図る。	<p>’ 10年実績 450 kg/t</p> <p>※溶融量原単位</p>	<p>① 窯エネルギー原単位の削減</p> <p>② カレット使用量の増加</p> <p>③ ガス燃焼の定着</p>
省エネルギーを推進し、エネルギー原単位を削減する。	<p>’ 10年度実績 221.8 L/t</p> <p>※溶融量原単位</p>	<p>① I N V化・高効率機器導入</p> <p>② 最適燃焼条件の追及</p> <p>③ カレット使用量の増加</p> <p>④ 日々のチェック・管理</p>
再資源化率をアップし、資源の有効活用を図る。	<p>’ 10年度実績 76.2%</p>	<p>① ガラス屑の再資源化</p> <p>② 廃油の再資源化</p> <p>③ 分別強化</p>
電力使用量の削減により電力原単位を削減する。	<p>’ 10年上実績 227.5 Kwh/t</p> <p>’ 10年下実績 207.0 Kwh/t</p> <p>※溶融量原単位</p>	<p>① 省エネ巡回（不用動力・照明設備の停止）</p> <p>② 照明器具（省エネタイプ）更新</p> <p>③ インバーター導入による省エネ</p> <p>④ 空調設備の更新</p>
上水・工水・井戸水の用量管理により用水使用量を削減する	<p>’ 10年実績 267 Km3/年</p>	<p>① 日々の使用量管理による節水</p> <p>② 冷却水の循環利用</p> <p>③ 脱硫設備での使用量源</p>